

## 木材利用実態調査に関する Q&A

問 1 1つの建物内に、複数の事業を実施している場合の計上方法如何。

(例) 1階保育所 2階子育て支援のための拠点施設

(答) 「各種施設別提出様式(施設整備等実績調査)」の面積部分等は分けて計上。  
分けて考えることができない場合は、主な事業の施設種別で計上。(施設整備等実績調査はダブル計上がないように)

問 2 中核市・指定都市に所在する都道府県所管の施設は、どちらから報告をあげればよいか。

(答) 所管している方が計上すればよい(この場合、都道府県が報告)。ダブル計上とならないように連絡を取り合ってほしい。

問 3 各国庫補助金(交付金)によって、スプリンクラー整備のみをした施設は「各種施設別提出様式(施設整備等実績調査)」に計上するか。

(答) 対象外。(新築・改築・増築・内装の改修をした場合のみ計上)

問 4 子育て支援のための拠点施設の取扱いについて、事業内容に、放課後児童クラブが含まれるが、この事業を行っている施設の取り扱い如何。

(答) 別添「調査要領」の1. 調査対象施設にあげた「国庫補助金・交付金」による国庫補助事業として整備をした施設である場合、子育て支援のための拠点施設として計上。(放課後児童クラブの実施の有無は、本調査の回答と無関係である。)

問５ 外国材の定義はなにか。外国から材料を輸入し日本で加工したら国産材になるか。（例：外国材を輸入して県内の工場で加工した場合、県産材として取り扱うところもある。）

（答）外国から輸入した木材は外国材とする（例の場合も外国材とする）。

問６ 施設を整備していない場合の取り扱い如何。

（答）対象件数「０件」で回答する。

問７ 木材を利用していない整備の取り扱い如何。

（答）新築、改築、増築又は内装の改修であれば木材使用量「０」で回答する。  
また、延床面積（ $q$ ）についても記載すること。

問８ 施設を整備したが木材を利用していない場合の取り扱い如何。

（答）対象件数の積算に含まれるため調査の対象とする。記載方法は問７参照。